



かけはし



教育目標

こころをひらき

みらいをひらく

<心をつなぐ>

未来をひらけ、レインボー学年！ 22名が小学校を巣立つ

昨日午後、卒業式が行われ、レインボー学年22名が太田東小学校を巣立ちました。その姿は、とても晴れ晴れしく、遠くに広がる未来（将来）を見据えているようでもありました。

午後1時過ぎ、体育館で式の開始を待つ在校生の緊張感も増すばかり。保護者の入場、来賓の入場と続き、いよいよ卒業生の入場です。張り詰めた雰囲気の中の体育館は、大きな拍手に包まれました。開式の宣言の後の「君が代」「大仙市民の歌」の斉唱。厳かな卒業式の始まりです。

卒業証書授与は、22名全員が完璧な動き、目線で行いました。これほど立派な授与の場面は、ほかにはちょっとないくらい。証書を大切に抱える姿は、きりっと締まり、心地よささえ感じました。校長式辞、藤田PTA会長様の祝辞、校歌斉唱と続き、フィナーレは「門出の言葉（よびかけ）」で



凛とした姿勢の卒業生



在校生からのエール

す。卒業生の緊張もピークに達しました。一人一人の精一杯のよびかけ。卒業生、在校生の歌。どの一つ一つも、誇らしいほどのものでした。来賓の皆様がお帰りの際、「とても立派な式でしたね。」「歌声がすばらしく、感動しました。」とお話してくださいました。私は、「いつも子どもたちに助けられているなあ。ありがとう。」と、ふり返りました。

音読の大切さを感じています

声に出して文章を読むことを、音読と言います。私は、小学校入学前、「読み聞かせ」はもちろん、「読書」などの経験が皆無だったので、音読がとても苦手でした。いわゆる、「拾い読み」（文章を言葉の集合としてとらえることができず、一文字一文字の読みになっている読み方）の状態



です。このため、文章の理解もままならず、結局は国語嫌いになりました。このことが今にも響いていて、お話しするとき、早口のもごもご状態になることがあります。今は、読むことよりも、書くことのほうがずっと好きです。このような経験からも、音読の大切さを実感しています。

今日から5年生が最高学年

6年生が卒業し、実質、5年生が最高学年となりました。

（登校班は、すでに昨日から）

学校生活でも、清掃をはじめ、すべてのリーダーが5年生となりました。どこか頼る気持ちが強かったこれまでとお別れし、ぜひ力強い機関車になってほしいと思います。

思うようにいかずに悩むこともあると思います。大人が手を貸すことは簡単です。しかし、成長のためにはこういう経験も必要。見守っていきたいと思います。

